



あま市観光協会主催で『精進料理体験』を行いました。
精進料理について話した後、旬の素材を使った料理を作りました。

平成30年11月
第9号

住職の一言

阿部雄峰

あつという間に年末を迎えました。曹洞宗の開祖である道元禅師は「光陰は矢よりもすみやかに」という言葉を残されていますが、まさにそのとおりであることを実感しております。

今年は、日々の仏事や催しの他に、駐車場の整備、大権修利菩薩像・達磨像の修復、須弥壇前机の新調、大おりんの新調、本堂正面の漆喰壁の修繕などを行いました。

また、釈迦如来像の制作や本堂中央須弥壇の修復も現在行っており、それぞれ今年中に完成する予定です。正月のお参りがてら観ていただけると幸いです。

来年は、永代納骨堂を建てる予定です。「墓じまい」という言葉を最近良く聞きますが、実際にこの延命寺においても墓じまいされる方がでてきていますし、納骨についての相談も大変多くなりました。お墓のあり方が時代の流れで大きく変わったのです。そこで延命寺もこの問題に因應するために永代納骨堂建設に向けて動き出します。新しく建てるとなると、多額の資金が必要となるため、今ある弘法堂を再利用する予定で考えております。

以上のようにいろいろ考えることばかりで住職の大変さを実感する毎日ですが、お寺を維持し発展させていくのが住職の役目です。怠ることなく、縁ある皆様に少しでも満足していただけるお寺づくりに日々努めて参ります。

今年度中皆様には大変お世話になりました。来年も宜しくお願いいたします。よいおとしをお迎えください。

ブツダの言葉に学ぶ

勝利は怨みを引き起こし、
敗れた者は苦しみに臥す。

勝敗を捨てて寂靜に入った者は、
安らぎに臥す。 『法句経』

人は人生の要所要所でライバルに出会います。

学業成績を競う相手、スポーツの勝敗を競う相手、仕事のライバル、恋のライバルもいるでしょう。

当たり前のことですが、競争には必ず勝ち負けがついて回ります。勝てば喜びが得られ、負けたら苦しみを得ることになりますから、ライバルに絶対に勝たなければと思ってしまうわけです。

ところが、お釈迦様は「勝利は怨みを引き起こし、敗れた者は苦しみに臥す」と言います。勝利は怨みを引き起こすというのは、勝負に負けた方は、どうしても悔しさが生じ、苦しみます。悔しさから、嫉妬したり、怨んだり、その延長で嫌がらせをする人もいます。せっかく競争に勝っても、嫉妬や怨みを受ければ、心地よくありません。

ん。このように競争に勝っても負けても不幸になるのだから、勝敗にこだわらな、と言われるのです。誤解してはならないのは、お釈迦様は、競争してはならないと言われているわけではありませぬ。競争は人を成長させるので、悪事ではありません。ただ勝ち負けにこだわるなどというのは、お釈迦様は、競争してはありませぬ。

お釈迦様はこのようにも説かれています。

「戦場において百万人に打ち勝つよりも、ただ一つの自己に克つこそ、最

上の勝者である」『法句経』

百万人の敵に打ち勝てば、勇者として讃えられるのが普通ですが、そのような表向きの勝ち、負けより、自分の心に生じる煩惱を克服することができた人が真の勝者であるということです。

まだ頑張れるのに諦めの心が生じたり、怠け心が生じることもあります。負けた時、相手を羨ましがったり、怨んだりという気持ちが生じることもあります。勝った時、慢心が生じることもあります。それらの心が不幸に導くのです。そういう心に打ち克つことが本当の勝利だとお釈迦様は言われているのです。

釈迦如来像をお迎えします

延命寺には曹洞宗の本尊釈迦如来像がないため、昨年末に仏師森川幸昶師に作成を依頼しておりました。その仏像が、今年中に完成する予定です。

仏像の中には住職が書いた般若心経と願文が納められています。

釈迦如来像は坐禅のお姿で法界定印をされているのが基本ですが、延命寺の釈迦如来像は、立ちで説法印、彩色をほどこした他にはないお姿です。

参拝に来られる多くの人達の心の拠り所となれば幸いです。



アナウンサーが坐禅体験

8月にテレビ愛知の「はちまるまる」(火曜朝8時)の取材で延命寺に宇野アナウンサーが来られ、坐禅を体験してくださいました。

今までも多くのお寺で坐禅をされたそうですが、風鈴の音色を聞きながらの坐禅はとても気持ち良かったそうです。

番組は9月に放送されましたが、その動画がインターネットでも見ることができず。興味のある方は延命寺のFace bookをご覧ください。



住職と宇野アナウンサー

須弥壇しゅみだんの前机を新調

本堂の須弥壇の前に置かれていた前机ですが、江戸時代からずっと使われていたため老朽化し、脚が半分折れた状態です。なんとか使っていました。しかし、そのまま使うのは危険なため、この度新しいものに新調しました。今年中に須弥壇も修復する予定です。



新しい前机



古い前机

のぼり 幟奉納承ります

新年に向けてお願い事、もしくは先祖供養として幟(のぼり)を奉納しませんか。

皆様の願文とお名前を墨書し、境内に一年間奉納させていただきます。

【奉納期間】約一年(旗の寿命まで)

【冥加料】一枚 三千元

【申し込み】随時承ります



精進ごはんレシピ



旬のきのこを使った
おもてなし料理です

[きのこのけんちん蒸し]

材料 (4人分)

豆腐…1丁 人参…2センチ しめじ…半パック きくらげ…2, 3枚 干し椎茸…1, 2枚
銀杏…4個 大和芋…20g あられ…少々 大葉…4枚 A (酒大さじ1 みりん大さじ1
醤油大さじ1/2) B (昆布だし250cc 薄口醤油大さじ1 塩小さじ1/2 みりん20cc)
片栗粉…適量

作り方

- ① 豆腐は水切りしておく。きくらげ・干し椎茸は水に戻す。きくらげ・干し椎茸・人参は千切りにする。人参はさっとゆでておく。しめじは2cm幅に切る。
- ② すり鉢に豆腐を入れよく擦り混ぜる。大和芋を入れさらに擦り混ぜる。
- ③ ②に①とAを入れ、混ぜ合わせる。
- ④ ラップに③をのせ茶巾に絞って輪ゴムでとめる。
- ⑤ 湯気が上がった蒸し器に④を入れ15~20分蒸す。
- ⑥ Bをひと煮立ちさせ水溶き片栗粉を入れとろみをつける。
- ⑦ 器に大葉を敷き、⑤をのせ、⑥をかけてあられを散らす。



お知らせ・募集

◆お守り作りの会(最終回)

十一月二十四日(土) 午後一時~
檀信徒の皆様にお配りするお守りを一緒に作り
ませんか? 次回で今年最後の集会となります。

◆寺子屋講座「心が晴れる法話と写経」

(開講日) 毎月第三土曜日

午後一時~午後三時半

(受講料) 初回千五百円、二回目以降千円

子供無料

お釈迦様についての法話、簡単なイス坐禅、写経。
子供は写仏。

受講を希望される方は、お寺までご連絡ください。

編集後記

九月の終わりに新たな家族ができました。
「普賢(フゲン)」という名の子犬です。殺処分寸前の
ところを名古屋の動物団体が保護した犬です。
もともと野犬ですので、慣れるまで時間がかかりま
したが、今では、家族に馴染んで生活しています。
子どもたちにとって命の大切さを学ぶ良い機会となっ
ていると思います。



青林山 延命寺

☎ : 490-1115 愛知県あま市坂牧郷 30

☎ : 052-444-0109

※月参り・命日のお参りなど随時受け付けております。

<http://www.seirinzan.com> 検索は青林山延命寺